



ミヤマウメモドキ (モチノキ科)

ウメモドキは湿地を好みます。芝谷地に自生しているものは本州日本海側地方に多い葉の広い、ミヤマウメモドキです。

昭和11年に国指定の天然記念物として告示された文書には「山間盆地にあつて、ノハナショウブが多く開花し、モウセンゴケ、キバナミカキグサ、ネジバナ、チゴザサ、オウウメモドキなどが発生し……」とありますが、このオウウメモドキとあるのが今のミヤマウメモドキと思っています。

雌雄異株で、葉が落ちてでも雌木には紅い実が枝いっぱい残るので冬まで鑑賞できるはずですが、野鳥の餌となり、早く実がなくなつてしまいます。(写真は10月) 文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□卒業式シーズンとなりましたが、二日、大館高校の卒業式に出席する機会を得ました。卒業式とは一人ひとりがそれぞれの人生に向けてスタートする日ではないかと思っています。私も二十数年前同じ体育館で行われた卒業式を思い出し、その後どのように暮らしてきたのか、物思いにふけてしまいました。(ま)

□前回の編集後記に私が作ったときのクイズの応募者数が少ないことを書いたら、今回の応募者は一挙に百人の大会を超え(百四)、新記録となりました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。中には励ましのコメントまで書いてくれるかたもありました。編集後記だけでなく中の面も皆さんに楽しく読んで頂けるよう今後も努力したいと思っています。(咲)

□高校時代の友人が亡くなった。享年二十六歳。お互い文系科目が得意で、その代わり数学はいつもそろって赤点。狡猾さはかけらもなく、周りを元気づけてくれるいいヤツだった。彼が好きだったビリー・ジョエルの歌が思い出される。「Only The Good Die Young」いいヤツばかりが早く逝く。若過ぎる死を悼む。(ゆ)

★ 広報おおだて 平成8年3月16日号(No649)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

🌸 広報おおだては再生紙を使用しています。